



市長記者会見資料
平成27年3月24日
経営企画部都市経営課

高岡市人口減少対策報告書の取りまとめについて

北陸新幹線の開業は、交流の拡大をもたらすことが期待される一方、都市間競争の新たな幕開けとも考えられ、高岡市人口減少対策本部では、本市の人口減少の実情に応じた総合的な人口減少対策の構築に向けた検討を進めてきた。その結果を報告書として取りまとめたことから要点をお知らせする。

1 人口減少の状況と要因

- ・総人口のピークは1985年の188,006人（※国勢調査ベース、現在の市域の人口）
- ・1995年以降、年少人口及び生産年齢人口は数・割合とも低下、老年人口は数・割合とも増加
- ・全国・富山県とも1975年頃から合計特殊出生率が低下、1995年頃からは1.50を下回る状態
- ・合計特殊出生率は人口置換水準（人口が均衡した状態となる水準）の2.07を下回っていたものの、平均寿命が伸び死亡数の増加が抑制されていたことなどから1985年頃までは人口が増加
- ・2005年以降は、死亡数が出生数を上回っており、この「人口貯金」は使い果たした状態
- ・1980年以降は、大学進学や就職、婚姻、住宅の取得などに伴って若者が都市部などに流出
- ・1990年頃から女性の流出が男性を超過。女性の社会進出の進展、大学進学率の上昇が影響

2 人口減少対策の考え方

[ターゲット]

若者、女性

[基本方針]

若者が安心して生活を送ることのできる環境づくり

女性がいきいきと暮らすことのできる環境づくり

若者や女性を惹きつける魅力のPR

[取組みの柱]

住まい、働く場、子育て + 持続的で活力あるまちづくり、地域全体でのダム機能の構築

3 主な施策と取組み

[住まい]

利便性の高い生活環境の整備 新幹線通学定期助成【N】、万葉線ICカード整備事業【N】

まちなかにおける若者向け住宅の供給促進 まちづくり資金支援事業【N】、末広町西地区整備推進事業【N】

住みよい環境や魅力のPR 日本遺産魅力発信推進事業【N】、とやまの田舎交流事業【N】

[働く場]

創業・起業環境の整備 創業促進支援事業【N】、新分野開拓チャレンジ事業（創業支援）【N】

未来を担う人材の育成と定着促進 高岡留学奨学資金貸与事業【N】、大学・地域連携推進事業

[子育て]

切れ目のない子育て支援の提供 産後ケア事業【N】、特別保育等実施事業【拡】

子育てのまち高岡のイメージアップ 子育て支援サイト策定事業【N】、子育て支援ガイド策定【N】

担当：経営企画部都市経営課
都市政策担当
TEL20-1226（221）

<高岡市の人口減少対策の全体イメージ>

